

日赤通り

NISSEKI VOICE
広報版

VOL 28
FEBRUARY
発行：福島赤十字病院
H24.2.3

<http://www.fukushima-med-jrc.jp>

総合病院 福島赤十字病院 〒960-8530 福島市入江町11-31 ☎ (024)534-6101

もぐり

- 赤十字広報特使の藤原紀香さん来院 1
- 福島赤十字訪問看護ステーションのご紹介 2
- サンレディーがやってきた!! 2
- 除染の報告 3
- お手軽クッキング 3
- 福島赤十字病院勉強会 4
- 福島赤十字病院病診連携連絡会 4

- 登録医師・医療機関のご紹介 5
- 各科の外来診療予定表 6
- 患者さまの声 7
- 各講座・教室案内 7
- STAFFの紹介 7
- 各種健診のご案内 8

基本理念 「みなさまに信頼され親しまれる福島赤十字病院」

基本方針 「患者さま中心の医療」

患者さまの人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた患者さま中心の医療に努めます。

「良質な医療の提供」

医療技術の向上および施設の充実を図り、良質な医療の提供に努めます。

「地域医療機関との連携」

より良い医療を提供するために、地域医療機関との連携に努めます。

「救急医療の充実」

救急患者さまには常時対応し、救急医療の充実に努めます。

「災害時の救護活動」

国の内外を問わず、災害時の救護活動に努めます。

「経営の健全化」

良質な医療活動遂行のため、経営の健全化に努めます。



赤十字広報特使の藤原紀香さんが来院されました。

平成23年10月30日(日)、赤十字広報特使の藤原紀香さんが、福島県の被災地を訪問すると共に当院を慰問されました。入院されている妊婦さんや、福島第一原発から半径20km圏内の警戒区域から仮設住宅等に避難し、入院されている被災者の方々へ声をかけていただきました。

ご自宅に「笑顔」と「元気」を届けて 皆様の健康をお守りしています。

福島赤十字訪問看護ステーション
所長 佐藤 利恵

当院の訪問看護は、病院から在宅に向けたサービス部門として平成元年に始まりました。その後、平成11年から「訪問看護ステーション」として活動するようになり、病院勤務が15年以上で臨床経験の豊富な看護師5名がスタッフとして活動しています。現在登録している利用者様は60人前後となっております。

ところで、みなさんは「訪問看護」ってご存知ですか？

訪問看護とは、病院での看護とは違い、病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご自宅に看護師を派遣し、看護ケアを提供し、自立への援助を促すことで、その人らしく療養生活を送れるように支援をするサービスです。

最近では、病院での療養期間が短くなったこともあり、自宅に医療処置や医療器具を抱えたまま退院する方が多くなりました。事実、当ステーションの利用者様の50%以上が何らかの医療処置や医療器具を抱えて自宅で療養されており、ご利用者様やご家族の不安や負担が多いというのが現状です。

そこで当ステーションでは、通常の訪問以外に365日24時間、夜間や休日などの緊急時にも備えた対応を行うことで、ご利用者様やご家族が少しでも安心して自宅療養できるように支援しております。

自宅療養されているご利用者様やご家族はとても前向きで明るい方ばかりです。毎日の処置や器具の操作、さぞかし大変で面倒ではないだろうか?と思い、話を聞いてみると、上手に対応され生活の一部に取り入れ楽しく療養・介護されているのです。その姿に私たちはいつも驚かされ、感動させられ、逆に元気をもらって帰ってきます。本当に頭が下がります。しかし、いつもは明るく前向きな姿を見せておられますが、やはり利用者様やご家族の不安や負担は多く、私たち訪問看護師は、常にアンテナを高くて利用者様やご家族の不安や悩みにより添い、支えられるよう頑張っております。

利用者様が住み慣れた地域やご自宅で大切なご家族やご友人とともに充実した日々を過ごし、「家に戻ってきて良かった。」と思っただけのよう「笑顔」と「元気」を絶やさず毎日訪問しています。



▲私たちが「元気」と「笑顔」をお届けします!



▶利用者様が住み慣れた環境で看護ケアを行います。



サンタレディーがやってきた!!

医療社会事業課長兼社会課長
田畑 友子

入院中の子供たちの笑顔がはじけました!

12月22日の午後、クリスマスをご自宅で過ごすことができない子供たちを元気づけようと、3名のサンタレディーが、かわいらしくラッピングされたおもちゃや文房具などたくさんのプレゼントを持ってやってきました。今回来院してくださったのは、ワンダーアートプロジェクト(東京都品川区)の方々で、アート活動を通じて子供たちに心豊かな生活環境を提供するために活動している団体です。クリスマスソングと鈴の音をならしながら、ワゴン一杯にのせたプレゼントを持って子供たちの部屋を訪ねていただきました。どの子供も、はじめこそきょとんとした表情でしたが、程なくワゴンのプレゼントにくぎづけとなり大喜びでした。

また、新潟県新発田市にある敬和学園大学と書店のコラボによるサンタプロジェクトの方からのお声かけもあり、子供向けの本も届けていただきました。サンタに扮した病院の医師が入院中の子供たちに手渡し、これもまたたいへん喜んでいただきました。

他県の方々に気にかけていただけていることを実感し、ありがとうございました。



◀突然のサンタの訪問にびっくりしたかな?

▶医師がサンタに扮してプレゼント



▲たくさんのプレゼントをいただきました



安心できる環境を取り戻すために〈除染活動〉

総務係長 野田 誠

当院では、原発事故による目に見えない不安がある中、来院される患者さまや面会の方々、働く職員が少しでも安心できる環境に出来ないかと考えて、病院周辺の除染活動を行いました。

本来であれば東京電力や国などが責任を持ち対応すべき問題ですが、一早く安心を取り戻すためにもこの半年間で放射線について色々学んだことを活かし自分たちでも出来る除染を行いました。

除染では、草や苔を削り、落ち葉や排水溝の汚泥除去、水道水による高圧洗浄など簡単な方法ではありましたが、予想以上に重労働でした。しかし除染をした後の下がった放射線量の数値を確認したときは、充実感と安堵感がありました。

今回の活動範囲以外でも放射線量の高い箇所については引き続き除染していく必要があると思います。これからも皆様が安心できる環境を取り戻すため頑張りますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



▲表土をはがしての除染



▲苔をはがしての除染



▲落ち葉などを取り除いての除染



▲高圧洗浄機を使った除染

お手軽クッキング

釜 飯 丼

新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか？

お客様におもてなし料理で見た目も豪華でお腹も満たされるお料理をご紹介します。

白いご飯でも美味しく頂けますが、ほうじ茶、番茶又は、しょう油で味付けした茶飯でも風味豊かで召し上がることが出来ます。ぜひ、お試しください！



栄養課

調理師 釜田 雄一
栄養士 笹本 明子

材 料 (4人分)

精白米	340g
	(ごはん換算1人/200g)
鶏もも肉	250g
干し椎茸	8g (4枚)
かまぼこ	80g
ゆで卵	100g (2ヶ)
油揚	120g (2枚)
絹さや	16g (8枚)
しょう油	大さじ2杯
砂糖	大さじ2杯
酒	大さじ1杯
みりん	小さじ2杯

1人前の栄養価：611kcal

たんぱく質 26.8g 糖質 77.4g

脂質 19.5g 塩分 2g

作り方

- 1 干し椎茸は、ぬるま湯で戻す。
- 2 かまぼこは5mm程度の厚さに切る。
- 3 油揚は熱湯で油抜きをし1/4に切る。
- 4 絹さやは熱湯で色よく茹でる。
- 5 ゆで卵は最初に茹でて、殻をむいたら30分程、めんつゆに漬けておく。
- 6 Aをひと煮立ちさせた煮汁に干し椎茸の戻し汁を合わせ、鶏もも肉、干し椎茸、かまぼこを入れて、鶏肉に火が通ったら油揚を入れて煮る。
- 7 炊き上がったご飯を丼に盛り、各食材を盛り、絹さやを飾り付いたら出来上がり♪

料理ワンポイント

- ゆで卵は、ナイロン袋に入れてめんつゆに漬けると少量で足りませす。(半熟卵を漬ければトロリとして美味です)
- 材料を煮る時、こまめにアクを取るのを忘れずに。出来上がりがより美味しくなります。

マメ知識

茶飯は、お茶で炊くのとしょう油で色付けたもので、桜飯は、しょう油と酒で炊き込んだご飯で静岡の方で呼ぶそうです。

地域の方々と連携して地域の医療を支えるために

地域医療連携運営委員会研修担当 看護師長 高木 朝子

平成17年より医療連携室が地域との勉強会として「福島赤十字病院勉強会」を開催しています。そんな中、第9回福島赤十字病院病診連携連絡会において当院の宮田副院長より、今後は地域医療支援病院として地域のニーズに対応したより魅力的な研修会を開催することで、地域の医療従事者の資質向上に貢献する、今後の超高齢化社会を鑑み、地域の看護・介護力向上をめざした研修へも力を入れていくとの方針が報告されました。平成23年9月からは名称を「地域医療従事者研修会」と改めて研修会を開催しています。

9月には済生会福島総合病院との医療連携勉強会として、済生会福島総合病院において当院の鈴木脳神経外科部長が講師となり「当院における脳卒中の外科治療」というテーマで研修会を実施しました。10月には、「脳卒中勉強会」を地域の救急隊を対象に、渡部副院長はじめ、鈴木脳神経外科部長、市川脳神経外科部副部長を講師として行いました。日ごろ救急外来でお世話になっている救急隊と、当院の医師、看護師、コメディカルなど多数参加し、救急医療に関わる中での疑問など活発な意見交換等行われました。2月には、済生会福島総合病院の医師を当院に招いて、研修会を実施する予定です。

また、震災の影響からか入院患者の褥瘡持込率が高くなっていることから、今回初めての試みとして皮膚・排泄ケア認定看護師の佐藤美絵係長による「褥瘡ケア研修」を地域の看護、介護職へ参加を呼びかけて実施しました。医療と看護ケアの継続を図っていく上で、地域の看護職との交流は当院の看護師にとっても大変貴重な体験となりました。今後「地域医療従事者研修会」に、地域の医療、看護、介護等の従事者に一人でも多く参加していただけるよう、魅力のある研修会を開催するとともに、研修の機会を地域の医療従事者の方々との顔の見える連携の場としても活用していきたいと考えています。

《今後の研修会の予定》 会場：福島赤十字病院

- 2月22日(水) 済生会福島総合病院 内科(呼吸器科)石井妙子先生を講師による「超音波気管支鏡の実践」
- 3月8日(水) 南相馬市立総合病院 副院長 及川友好先生を講師に研修を予定しています

————— 多数のご参加をお待ちしております。 —————



▲当院の皮膚・排泄ケア認定看護師による褥瘡ケア研修の様子

第9回 福島赤十字病院病診連携連絡会を開催しました

地域連携係長 伊藤 和子

平成23年11月16日(水)、開業医をはじめ地域の医療介護関係者の方々73名にご参加をいただき、総勢133名で「第9回福島赤十字病院病診連携連絡会」を開催しました。

第1部で、渡部 洋一副院長の進行のもと 福島県東北保健福祉事務所 所長 今野 金裕先生による「今後の地域医療の理想像～県北・県内の医療資源のあるべき姿～」についての講演と、宮田 昌之副院長より「地域医療支援病院としての当院の役割について」と題し報告しました。今野 金裕先生の講演は第六次医療計画の見通しや、震災・原発事故による人口動態の変化から更なるマンパワー不足の状態にある県北地域の問題点などをわかりやすくお話し頂き、小山整形外科 院長 小山 菊雄先生からご意見をいただくなど、タイムリーで興味深い講演でした。

宮田 昌之副院長からは、県北地域において3ヶ所目となる地域医療支援病院の承認を受けた当院の役割について、①紹介患者・救急患者を優先的に受け入れ、病状が落ち着いた患者についてはかかりつけ医に逆紹介をし、地域完結型医療を目指すこと。②病院施設・高額医療機器(MRI・CT・骨密度測定・関節エコー・神経伝達速度)等の設備の共同利用をしていくこと。③地域に必要な救急医療を提供すること。④病院・診療所の医師だけでなく、介護・福祉施設に従事する多職種に対する研修・勉強会を開催し、地域の医療の質の向上を共に目指すこと。以上4項目について報告させて頂きました。

第2部では、芳賀 甚市院長より挨拶、来賓を代表し 福島市医師会長 有我 由紀夫先生、伊達医師会長 中野 新一先生よりご挨拶を頂戴し、安達医師会長 本田岳先生のご乾杯で懇親会に移りました。その中で、5ヶ所の介護保険施設の施設長様・事務長様や今年初めてご参加いただいた診療所の院長先生方3名より、施設・診療所の紹介や当院へのご要望などをお話し頂きました。

また今回は、会場内に「東日本大震災における救護活動」「平成23年7月新潟・福島豪雨災害における救護活動」「警戒区域内への一時立入に伴う中継基地での救護活動」の写真を展示し多くの方に見ていただきました。

活発な情報交換のもとより一層の親睦を深める機会となり、3時間にわたる会は無事閉会いたしました。ありがとうございました。



▲今野 金裕 先生の講演での一コマ



▲救護活動の写真パネル展示

福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

* 医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

いちかわクリニック

■ 院長 市川 文隆 先生

■ 副院長 市川 陽子 先生

■ 副院長 齋藤 春子 先生

市川先生からのメッセージ

平成23年3月11日の東日本大震災により、福島は放射能問題が大きいのかかり、生活が一変してしまいました。私共にとっても、その時点から地域医療の重要性を再認識させられる毎日です。私達がまずやらなければならない役目として、地域の方々に放射能についての正しい知識を持ってもらうこと、そして福島の医療を日本最高レベルまで引き上げることだろうと思います。そのためには芳賀甚市院長がおっしゃる「かかりつけ医」と高次医療を施せる福島赤十字病院をはじめとした各医療施設との密接な連携が不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



《診療科》 産婦人科・小児科・内科
 《住所》 〒960-0112 福島市南矢野目字鼓田6-1
 《電話》 産婦人科:024-554-0303
 小児・内科:024-554-2828

《FAX》 024-554-2521
 《HP》 <http://www.ichikawaclinic.com/>
 《休診日》 水曜午後 第4土曜は全休 日曜・祝祭日
 《往診・訪問診療》 無

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	●	×
午後	14:00~18:00	○	○	×	○	○	×	×

*産婦人科のみ午後からの診療時間が14:30からです。

福島中央市民
医療生活協同組合

須川診療所 在宅療養支援診療所

■ 所長 廣川 健 先生

廣川先生からのメッセージ

福島赤十字病院は今回、地域医療支援病院となられ、今後県北地域の医療体制はますます充実するものと期待されます。当院は糖尿病療養指導士を配置し、糖尿病をはじめとした生活習慣病の療養援助に力を入れています。また、疾病の予防につながる地域での保健活動や、健診などによる疾病の早期発見、さらには在宅医療を充実させることで、プライマリケアの医療機関としての役割を果たしていきたいと思っております。



《診療科》 内科・消化器科・小児科・放射線科・神経内科・呼吸器科
 循環器科・外科・整形外科・リハビリテーション科

《住所》 〒960-8055 福島市野田町一丁目12-72
 《電話》 024-531-6311 《FAX》 024-531-6386
 《HP》 <http://www.fcs-mcoop.jp/>
 《休診日》 木曜午後 土曜・日曜(午後・夜間)
 夏期休診・年末年始休診期間中の日曜日は休診

《往診・訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○
午後	14:30~16:30	○	○	○	×	○	×	×
夜間	17:30~19:30	○	○	○	○	○	×	×

*入院、定期往診、各種健康診断、人間ドック(半日、1泊2日)、日曜日午前の診療も行っています。

医療法人 掛田中央内科 在宅療養支援診療所

■ 院長 小野木 太 先生

小野木先生からのメッセージ

福島赤十字病院の先生方には、救急対応から検査依頼、患者さまの御相談まで幅広く対応して頂き厚く御礼申し上げます。当院は、開院当初より「在宅医療」に力を注いでおり、現在は在宅療養支援診療所として24時間緊急体制をとりながら、訪問看護をはじめ種々の介護サービスを共に連携し地域の皆さんによりよい「安心」を提供しております。地域包括ケアの中心を担う医療機関として益々地域医療に頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



《診療科》 内科・消化器科・循環器科・小児科
 神経内科・リハビリテーション科・整形外科

《住所》 〒960-0801 伊達市霊山町掛田字西裏49-1
 《電話》 024-586-1315 《FAX》 024-586-3666
 《HP》 <http://kakedachuohnaika.com/>
 《休診日》 水曜午後 日曜・祝祭日 お盆・年末年始
 《往診・訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後	14:30~18:30	○	○	×	○	○	○	×

各科の 外来診療予定表

平成24年2月2日現在

受付時間

新患受付 午前8:45～
再来受付機
午前8:00～各科の午前の受付終了時刻まで
午後1:00～各科の午後の受付終了時刻まで
午前診察 9:00～ 午後診察 2:00～

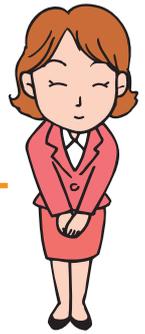
診療科	受	付	月	火	水	木	金	
内科・消化器科 呼吸器科 糖尿病科 新患・再診	午前11:30迄	1 診	宮田 昌之	寺島久美子	宮田 昌之	寺島久美子	宮田 昌之	
		2 診	田中 健一 (医大 腎臓・高血圧内科)	黒田 聖仁		泉田 太郎 (糖尿病)	黒田 聖仁	
		3 診	猪狩 綾希		猪狩 綾希		菅野有紀子	
		4 診	黒田 聖仁	齋藤 広信	菅野有紀子	齋藤 広信	齋藤 広信	
	呼吸器科	福原奈緒子(医大)						
	糖尿病科	佐藤 義憲			佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲	
新患・再診	菅野有紀子	佐藤 義憲	寺島久美子	宮田 昌之		猪狩 綾希		
午後	※水曜日午後3:00～4:00は禁煙外来を実施しております(完全予約制)							
循環器科	午前11:30迄	1 診	横川 哲朗	阪本 貴之	横川 哲朗	阪本 貴之	阪本 貴之	
		2 診	渡部 研一	新 患	渡部 研一	新 患	渡部 研一	
		3 診	大和田尊之	中里和彦(医大)	大和田尊之	大和田尊之	横川 哲朗	
午後	検査							
精神科・神経科	午前11:30迄 但し新患の方は11:00迄	初 診	藤森 春生	藤森 春生	菅野 智行	笠原 論	笠原 論	
		再 診	菅野 智行	笠原 論	藤森 春生	藤森 春生	菅野 智行	
	午後3:30迄(水)(金)再診のみ	笠原 論						
小児科	午前11:30迄	うさぎ きりん	弓削田英知 萩原 典之	萩原 典之	弓削田英知 萩原 典之	弓削田英知 (医大)	(医大) 萩原 典之	
		うさぎ きりん	弓削田英知	(特診)	萩原 典之	弓削田英知(特診) (特診)	(医大) 萩原 典之	
	午後3:30迄(月)(水)(金)	特殊外来 第4火曜日 神経クリニック 第2・4木曜日 心臓クリニック 毎週火曜日 1ヶ月健診 (特診) 毎週木曜日 腎クリニック 毎週火曜日 10ヶ月健診 毎週火・木曜日 毎週火・木曜日 予防接種 ※特殊外来は予約制となっています 事前に電話での予約をお願いいたします						
	外科 呼吸器外科	午前11:30迄	1 診 2 診 3 診	芳賀 甚市 遠藤 豪一	芳賀 甚市 大石 明雄	今野 修 (医大)	芳賀 甚市 大石 明雄 土屋貴男(医大)	今野 修 菅野 隆三 処 置
午後4:00迄(火)(金)	手術							
※金曜日午後2:00～4:30はストーマ・スキンケア外来を実施しております (ストーマ・スキンケア)								
心臓血管外科	午前11:30迄	診 察	安藤 精一	安藤 精一	(医大)	(医大)	安藤 精一	
	午後4:00迄(木)	手術						
整形外科	午前11:30迄 但し(火)(水)(金)は10:30迄	1 診	村上 和也	高橋 洋子	村上 和也	村上 和也	村上 和也	
		2 診	高橋 洋子	小山 光久	小山 光久	高橋 洋子	医大(予約のみ)	
	午後(月)(木)予約患者様のみ	検査						
脳神経外科	午前11:30迄	1 診	渡部 洋一	交代	鈴木 恭一	渡部 洋一	鈴木 恭一	
		2 診	市川 剛		渡部 洋一	鈴木 恭一	市川 剛	
午後	手術							
神経内科	午前11:30迄	診 察	榎本雪(医大)					
	午後							
皮膚科	午前11:30迄	診 察	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和	
	午後3:00迄(水)	病 棟						
形成外科	午前	手術						
	午後4:00迄(火)	浅井笑子(医大)						
泌尿器科	午前11:30迄 但し(月)(水)は10:30迄	診 察	鶴谷 善昭	矢崎 順二	(医大)	鶴谷 善昭	矢崎 順二	
		午後	手術					
	午後	検査						
産婦人科	午前11:30迄 但し(月)(火)は10:30迄 ※完全予約制となります	婦人科	矢澤 浩之	矢澤 浩之	林 章太郎	林 章太郎	平岩 幹 第4週のみ(医大)	
		産科	林 章太郎	林 章太郎	平岩 幹	矢澤 浩之	矢澤 浩之	
	午後4:00迄(月)(水)(金) ※完全予約制となります	診 察	担当医 検査	産後検診	担当医 検査・手術	検査	担当医 手術	
眼 科	午前11:30迄 但し予約外及び新患の方は11:00迄	診 察	(医大)					
		午後						
耳鼻咽喉科	午前11:30迄 但し(木)は10:00迄	診 察	大河内幸男	大河内幸男	大河内幸男	大河内幸男	大河内幸男	
		午後4:00迄(水)(金)	検査					
麻 酔 科	午前11:30迄	診 察	安達 守	安達 守	安達 守	安達 守	安達 守	
		診 察	出羽 明子	出羽 明子	出羽 明子	出羽 明子	出羽 明子	
	午後	※金曜日は出羽医師による緩和ケア外来を実施しています (緩和ケア) 手術						

※本予定表につきましては、都合により変更になる場合がございます。最新版については、当院ホームページをご確認いただくか、お電話にてご確認いただけますようお願い申し上げます。

患者さまの 声

ご意見・ご指摘ありがとうございます。

たくさんのご意見・ご指摘の投稿ありがとうございました。紙面の都合上すべてのご意見と回答の掲載はできかねますが、投稿されたご意見は、すべて顧客サービス向上委員会で記録・保管し、関係各署とともに検討・対策をしております。



①『保険の証明書発行にかかる時間について』

ご意見 生命保険の証明書の発行に2～3週間時間がかかると言われたが理由が分からない。外来受診の時に持参すればその場で書いてくれてもいいと思う。

回答 診療科によって差はありますが、毎日多数の生命保険の証明書等をお預かりしております。外来受診時に作成して欲しいとのご要望ですが、その場で作成しますと外来診療が滞り、患者さまの待ち時間が長くなってしまいます。この様なことから、証明書等の作成については、外来及び入院診療の合い間をみて作成しておりますので、どうかご理解をいただきます様よろしくお願いたします。

②『待ち時間について』

ご意見 毎回思う事ですが、内科診察終了後、薬等呼ばれるまでが長すぎます。4、5人も人がいて時間がかかりすぎるのではないのでしょうか。まだ1人でしたらあきらめもつのですが、今日も30分以上待ってます。一生懸命な方もおりますが、職員さんの「アラ」が見えてしまいます。

回答 長い時間お待たせしましたこと、大変申し訳ございません。待ち時間短縮のため受付でも多忙時には会計をする者を増員する体制をとっておりますが、どうしても患者様をお待たせしてしまうことがあるのが実状です。出来る限り待ち時間を短くすべく、スタッフの指導・育成に努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

③『声の大きさについて』

ご意見 いつも両親がお世話になっております。いつも思うのですが、看護師さんや受付の方達の声が大変小さいです。両親は80近くの歳ですので耳が遠く、なおさら聞こえません。もう少し、声の出し方に注意して頂けたら幸いです。よろしくお願いたします。

回答 【医事課】不愉快な思いをおかけしまして申し訳ございませんでした。今後は聞き取りやすい、はっきりした口調でお呼びできるよう注意を払っていきたいと思います。
【看護部】患者さんに合わせて、はっきりした口調でゆっくりききとりやすくお呼びするように注意したいと思います。

④『便所の暖房について』

ご意見 10月20日入院して、秋になって寒さを感じる時期となり、トイレに入りましたら、便座が暖房されていないのでヒヤーとして腰掛られず、高齢者にはきついです。暖かな便座にして下さい。お願いします。

回答 【調度課】不快な思いを与えてしまい誠に申し訳ございませんでした。省エネ対策として行っておりましたが早速対応させていただきます。ご意見ありがとうございました。
【看護部】寒くなって参りましたのに便座を暖めておらず、申し訳ありませんでした。使いやすいトイレにしたいと思います。

各講座・教室案内 皆さんご自由にご参加下さい。

●栄養相談教室予定 ※担当は管理栄養士です。

24年	タイトル
1月	正月太りをやっつける！ かくれ肥満を見逃さない
2月	測って実感！ ご飯のカロリー
3月	目で見て実感！ パンと麺のカロリー
4月	春からスタート♪ 買い物編～栄養表示活用術～

時間／15:00～15:40 場所／本館5階 会議室

※予約制のため参加ご希望の方は、教室開催の前日までに、ナースステーション・外来受付・総合案内のいずれかに、お声掛けください。(参加費無料) どなたでも、ご参加頂けます。

日時等はホームページ及び院内にもその月ごと掲示しておりますが、都合により変更になる場合がありますのでご了承下さい。(正面玄関右手掲示板や各病棟に掲示しています)

お問い合わせ先: TEL 534-6101 内線271 栄養課

STAFFの紹介

この度、新しく加わったスタッフを紹介します。

産婦人科



ひらいわ つよし
平岩 幹
福島県立医科大学
平成21年3月卒

日本産科婦人科学会

専門とするもの

産婦人科
後期研修1年目

私の趣味

ジョギング

メッセージ

未熟者では
ございますが、
頑張ります。

人間ドック(日帰り)と各種健診のご案内

生涯にわたって健康で安心して暮らすためには、自分の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりが大切です。生活習慣病は、病気の初期にはほとんど自覚症状がありません。早期発見・予防のために、年に一度は自分の健康チェックを行ってみてはいかがでしょうか。

当院では、人間ドック(日帰りコース)の他、下記の各種健診を行っております。

健診コースご案内

コース	実施曜日	検査内容と目的
人間ドック	月～金	診察・腹囲測定・眼科・耳鼻科・血液・尿・便・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・胃の検査(バリウムまたはカメラ)等の検査で、胃癌・心疾患および糖尿病等の生活習慣病のチェック
乳癌検診	月～金	診察・乳房レントゲンもしくはエコーにて、乳癌・乳腺炎および腫瘍のチェック
前立腺癌検診	月～金	触診・前立腺特異抗原(PSA)測定にて前立腺癌のチェック
骨粗鬆症検診	月～金	骨密度測定により寝たきりの原因となる骨折の起こりやすい骨粗鬆症の早期発見および予防
脳ドック	月～金	頭部MRI・頭・頸部MRA・血液検査・心電図にて脳梗塞・脳出血・動脈硬化症・脳腫瘍等の早期発見及び予防
肺検診	月～金	胸部CT・喀痰細胞診・呼吸機能検査による肺癌、その他肺疾患等のチェック
腹部エコー	月～金	腹部エコーによる肝臓や胆道、膵臓、腎臓、脾臓、副腎などの腹部の臓器の病気・状態のチェック

※その他、協会けんぽ生活習慣病予防検診、福島市市民検診、特定健診、特定保健指導等についても実施しております。

※協会けんぽ生活習慣病予防一般健診受診者のみのオプションとして、血液検査、眼底検査、肺機能検査、尿沈渣検査、腹部超音波検査を実施することもできます。

※人間ドック等の健診は健康診断になりますので保険扱い出来ませんが、検査後異常があり精査、治療の場合は保険適用となります。

※結果は、後日郵送いたします。

※受診は全て予約制となっていますので、ご希望の方は健診係までお申し出下さい。

●まずは、お電話でお問い合わせ下さい●

医療社会事業部 健診係 TEL 024(534)6101 内線203
(お問い合わせの受付時間 10:00～16:30)

患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します。

- 一 最善にして公平な医療を受ける権利
- 二 個人の尊厳が守られる権利
- 三 個人のプライバシーが守られる権利
- 四 診察上必要な情報を得、説明を受ける権利
- 五 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利

患者さまへのお願い

福島赤十字病院は患者さまに次の事項を守っていただきます。

- 一 適切な診療を受けるために、ご自身の健康状態、病歴などの情報を正確に医療スタッフに提供してください。
- 二 診療内容は納得いくまで説明を受け、自ら理解した上で検査・治療を受けてください。
- 三 すべての患者さまが適切な医療を受けられるよう、病院の規則や職員の指示に従ってください。

当院では、患者さまやご家族の皆さまに気持ちよくご利用いただけますよう、さまざまな改善への努力をしております。皆さまからのご意見・ご要望を直接お伺いすることも大切なことと考えております。引き続き院内各病

ご意見箱設置のお知らせ

『皆さまの声』をお聞かせください

棟と外来にご意見箱を設置しておりますので、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。皆さまからお寄せいただきました貴重なご意見を充分検討し、今後のサービス向上に役立てていきたいと考えております。

発行
編集

福島市入江町十一二三
〒九六〇一八五三〇

総合病院 福島赤十字病院
☎〇二四・五三四一八一〇一

印刷(株)日進堂印刷所